

新年互礼会



新年最初の病院行事、新年互礼会を1月4日(木)多目的ホールにて開催いたしました。寒い中にもよく晴れた診療開始日に、1月入職者も含め約80名が集まる中、共に新年のお祝いをしました。開会のあいさつ、院歌斉唱に続き、後藤田理事長、黒田院長の挨拶、最後は横井副院長の発声で、乾杯しお開きとなりました。

新年に改めて気持ちの引き締まる互礼会でした。

新年あけましておめでとうございます。日頃より、地域の先生方にはじめ皆様にはご芳情をいただき、無事に新しい年を無事に迎えることができました。心より感謝申し上げます。当院では現在、建物の老朽化に伴う再構築の工事を進めております。患者さんの療養生活の近くでの工事をしていることもあり、安全に配慮し、職員総力一致で協力し進めております。数年後の工事完成時には改めてご披露できるかと存じます。また、いつもご紹介をいただいております地域の先生方にはご不便をおかけいたしますが、さらに質の高い医療を実践できるように精進してまいります。

本年もご指導賜りますようお願い申し上げます。

理事長
後藤田 公一

平成30年 新年互礼会

開会・進行 矢口事務長
院歌斉唱
挨拶 後藤田理事長
黒田院長
乾杯 横井副院長
杯会

基本方針

- 人権を重んじ、患者さんやご家族の「こころ」に寄り添ったやさしい医療を提供します。
- 質の高い医療を提供するため、すぐれた医療人を育てます。
- 「光と風と緑」にあふれた、安全で快適な療養環境を提供します。
- 地域の拠点病院として、保健・医療・福祉に貢献します。
- 信頼される医療サービスを提供するため、経営の健全化につとめます。

2016.4.1 改定

院内 花 だ よ り



シクラメン

● 桜草(さくらそう)科。
Cyclamen(シクラメン)は、ギリシャ語の「kiklos(円)」が語源。塊根が丸い球形のようなところから名がつけられた。
● 開花時期は、10月の終わりから翌4月の半ば頃。地中海沿岸地方原産。日本には明治時代に渡来し、最近ではクリスマスシーズンに花屋さんでよく見かけます。様々な柄や色のものが出ており、花の少ない冬、温かな彩りが目を楽しませてくれます。鑑賞用の園芸植物であり、寒さに強い品種のことを「ガーデンシクラメン」と呼んでいます。

■ 外来診察表

外来診察時間/9:00~12:00(受付は11:30まで)平成29年9月現在

	月曜	火曜	水曜	木曜	金曜	土曜
1 診	黒田	土井	濱田	横田	黒田	横田
2 診	花房		松島	戎	横井	横井
3 診	松島	島本	植田	白銀	茶谷	植田
4 診	田中	亀田	岩井	加納	広田	岩朝
5 診	佐野	山田	川村			松村
6 診	柴田	長谷川	正路	吉川	小林	
7 診	山本	久保	小深田	橋本	久馬	小深田
8 診	熊取谷	大矢	西村	河野		熊取谷
9 診	上坂	柏木	後藤	大浦	土井	安藤
診(心1)			中井	山下		

*医師の急な都合により、変更・休診となることがございますので、予めご了承ください。

〈ご紹介いただく際は予めのご連絡をお願いいたします〉



専門外来
(睡眠・児童・住診・女性・口腔)は予約制です。
医療機関からの入院・転院のご相談は地域医療連携室で承ります。受診の前にお電話ください。
TEL.072-278-0381
FAX.072-281-6615

診療科目

精神科/心療内科/児童精神科/内科/歯科/小児科/放射線科/神経内科

病床数

- EPU(精神科救急)病棟 168床(C1,H2,H3病棟)
- 児童精神科病棟 30床(D1病棟)
- 垂急性期病棟 120床(B2,C2病棟)
- 精神科急性期治療病棟 104床(D2,E1病棟)
- メンタルケア病棟 35床(E3病棟)
- 老年期精神疾患病棟 60床(D3病棟)
- MPU(精神科合併症治療)病棟 53床(H1病棟)
- 精神療養病棟 60床(F3病棟)
- 認知症治療病棟 60床(F2病棟) 計690床

関連施設ご紹介

- 認知症疾患医療センター ☎072-278-0233
- 訪問看護ステーションふれあいサテライト「浜寺石津」 ☎072-279-1631
- グループホームあんずの郷 堺市中区八田北町309 ☎072-278-2233
- 地域生活支援センターゆい 堺市中区深井沢町3324 FUKAI ビル1F ☎072-277-9555
- 堺市発達障害者支援センター アプリコット堺 堺市堺区旭ヶ丘中町4丁3番1号 堺市立健康福祉プラザ内3F ☎072-275-8506
- 医療福祉相談室(直通) ☎072-278-3768
- 就労移行支援事業所 エンワーク 堺市中区深井清水町3544-3 アンシャンテ深井1F ☎072-270-3318
- 居宅介護支援事業所 ☎072-278-0488

「障害者週間」 フェスティバル



12月9日(土)、堺市立健康福祉プラザ(以下、プラザ)において、「障害者週間」フェスティバルが開催されました。「障害者週間」とは障害のある方の福祉について関心を深めることをねらいとして毎年12月3～9日と定められているものです。アプリコット堺(堺市発達障害者支援センター)は今年度で4度目の参加となりました。今年度もプラザ内の相談機関や地域の支援機関より、旬の野菜や焼き菓子、手作りの雑貨などの販売、点字や手話の体験など様々な企画が催されました。

アプリコット堺は否和会のご協力により、ラベンダーのポプリを入れたサシェ(香り袋)づくりや来場者が思いの形のシールを貼って完成させるオリジナルのクリアファイルづくり、クリスマスをテーマにした簡単にできる石鹸アートの体験ができるブースを出店しました。ブースには小さなお子様からお年寄りまでたくさんの方々にご参加いただき、大盛況でした。また、参加者にはローズマリー水もプレゼントし、喜んでいただきました。

会場の外にはカレーやラーメンを売るフードカー、草餅やスイートポテトなどの模擬店も並び、寒さ厳しい中ながらわいわいと楽しい雰囲気でのフェスティバルでした。

多くの皆さまのご協力により、とどこおりなくフェスティバルを終えることができましたことに心より感謝申し上げます。(アプリコット堺)



院内でのエコ活動

12月は電気使用量512,993kwhで前月比33%の増加でした。昨年比に比して13.7%の使用量増、当然電気料金も増という状況です。

今年の冬は年始くらいまでは前年比に比べて気温が低くなるという予想通り、寒さ厳しい季節です。11月から気温が下がり、11月は前年比8%の使用量増と、増加の幅が広がっています。

院内では、ライトダウンキャンペーンを実施しており、毎月のポスター掲示とエコ会議でのラウンドなども実施しています。病院という消費エネルギーの大きい施設で、使用量を減らしていくには、病院全体での協力と主体的な講堂が重要です。

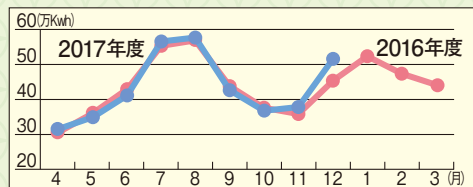
当院ではこまめな電源オフなど啓発活動を通し、省エネ活動に力を入れています。



■電力使用量

	2017(年度)		2016(年度)	
	使用量(kwh)	前年比(%)	使用量(kwh)	
4月分	319,933	103.6	308,821	
5月分	361,406	97.5	370,751	
6月分	405,975	94.8	428,159	
7月分	585,033	104.4	560,616	
8月分	595,158	101.6	585,977	
9月分	441,279	94.7	465,907	
10月分	365,896	97.5	375,236	
11月分	385,622	108.0	356,999	
12月分	512,993	113.7	451,204	
1月分			529,383	
2月分			476,495	
3月分			444,980	
平均	441,477		446,211	

	2016最高	2017最高	2016最低	2017最低
11月平均	17.4	16.6	9.0	7.6
12月平均	13.4	10.8	4.3	2.7



当院は敷地内完全禁煙です

守口長尾会クリニック

都市型小規模多機能クリニックとして、患者さんの日々の精神疾患に基づく生活障害に直接関わることで積み上げられる「患者さんとの信頼関係」を最大の強みとして、しっかりと患者さんと真正面から向き合っていきます。



クリニックの特徴は、「統合失調症と感情障害の患者さんのアウトリーチから社会復帰のための就労支援・就労継続までの精神科チーム医療としての深い関わり」です。ちょっとおせっかいを焼く、一言でいえば「おせっかい医療」ともいえるかもしれませんが、スタッフ一同、それを大事にしています。周辺地域で暮らす方が多いクリニックですから、地域のネットワークの中で患者さんが生活しやすい環境を支えていきたいと考えています。



- 住所 〒570-0081 大阪府守口市日吉町1丁目2-9
- 電話 06-6994-8867
- HP <http://m-nagaokai.webmedipr.jp/>
- 最寄駅 地下鉄谷町線・今里筋線「太子橋今市駅」
京阪本線「土居駅」それぞれ徒歩5分
- 診療科 心療内科、精神科

診療時間	月	火	水	木	金	土	日	祝
午前 9:00~12:30	○	○	○	○	○	○	—	—
午後 14:00~17:00	—	○	—	○	—	—	—	—
午後 17:00~19:00	—	—	○	—	○	—	—	—

※土曜診療は第1・3・5週です。※受付は30分前に終了いたします。

Dr.情報 院長 野村 吉宣 先生

☆経歴:昭和59年 4月 愛知医科大学卒業
昭和61年 6月 大阪医科大学神経精神医学教室入局
昭和62年 7月 水間病院精神神経科勤務
昭和63年 8月 医療法人杏和会阪南病院 精神科入職
平成13年10月 同病院精神科医 医長就任

平成17年 7月 同病院診療部長就任
平成22年10月 同病院副院長就任
平成25年 3月 同病院退職
平成25年 4月 医療法人長尾会 守口長尾会クリニック院長に就任

☆資格:精神保健指定医、日本精神神経学会専門医、日本睡眠学会睡眠医療認定医



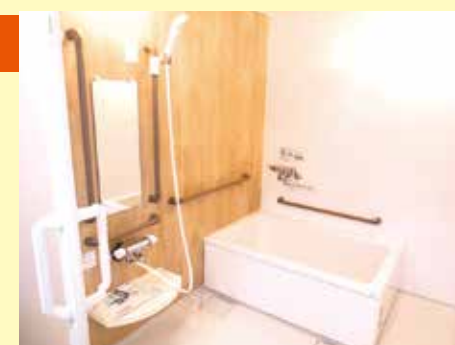
新棟へ向けて

これまで、リワークセンターや会議室として利用していたE棟1階フロアを改修し、2月1日より病棟として稼働を始めます。そのE棟1階にE2(精神科急性期治療)病棟が引っ越します。空いたE2病棟は今後若干の改修をして、病棟として再稼働する予定です。

昭和31年開設の当院では、昭和40年・50年代に完成した建物もあり、老朽化に伴う、改修や再構築の必要性を検討してきました。病棟移動をし、旧棟を空け、新しい建物を建てていきます。しかし、患者さんの療養生活の近くで行う工事です。患者さんにご負担をかけないように、安全第一で行ってまいります。3~4年後の完成を目指しています。どうぞご理解の程お願いいたします。

E1病棟はH棟の広さには適いませんが、スタッフステーションから、端から端まで見渡しの良い、観察しやすい開けた造りになっています。病棟西側にハード、ソフトの保護室を配置しており広さも明るさも充分な設えでした。新棟建設に向け、まず一つ病棟の稼働が始まります。

スタッフステーション前通路



保護室エリア浴室



第36回 児童精神科領域研究会

1月13日(土)兵庫県立ひょうごこころの医療センター院長、田中究先生にお越しいただいて、院内で症例検討会&講演会を行いました。

昨年、講演のご依頼をさせていただいた際に、ひょうごこころの医療センターでは、関係医療機関の医師だけでなく看護、心理、相談員、それに教育機関(小中高の先生方)や児童相談所など行政の人たちも含めた、症例検討会をし

ており、これが一番力がつき、連携もスムーズになる方法と考えていますので是非、症例検討会をしてはどうですかとご指導いただき、症例検討会(1.5h)と講演会(1h)という形で研究会を開催しました。

症例はD1病棟から2題、それぞれ精神保健福祉士と看護師が症例発表を行い、参加者はグループに分かれての討議を行いました。主治医と積極的な治療環境の構築が難しい症例に対しては、「主治医との関係性について改善を目指す取り組みの要否」「他者との関わりについて本人へできるサポート」「責められていると感じやすい家族へのアプローチ」といった観点でグループ内で検討がなされました。横田副院長の進行で、各グループからの発表と、田中先生にコメントをいただくという形で進められました。

講演会は「社会的養育について」というタイトルで、様々な問題を抱える子どもたちをサポートする社会基盤について、児童福祉法の改正から里親制度など幅広くお話いただきました。先生のお人柄の現れる優しい口調や内容に引き込まれた方も多いようでした。

今回、外部から来られた方は10名。症例検討会となると、人数は決して多くはないのですが、来られた方からは機会があればまた企画してくださいとのお礼の言葉もいただき、充実した内容の研究会でした。2月10日(土)の第4回の報告もこの誌面にさせていただきます。



適時調査

1月16日(火)13:30より、近畿厚生局指導監査課より指導官4名が来院し、施設基準等にかかる適時調査が行われました。

救急や急性期、児童、認知症などその施設基準に現状が適しているか、施設基準(人員配置等)がクリアできていないと、施設基準による診療報酬の請求が不正とみなされ、一定期間の報酬返還が求められます。医療法における立入検査(医療監視)精神保健福祉法に基づく実地指導などと同様に、適切な医療、人員配置、および法令に沿った運営が求められます。今回、報酬の返還等の指摘はありませんでしたが、細かくチェックがなされました。例えば、行動制限最小化委員会や感染対策委員会、医療安全管理委員会など病院設置の委員会には年2回以上の職員研修実施が求められています。院内研修で必須研修として4ポイントで実施している研修です。これらがきちんと実施されているか、一定数の参加者がいるかなども確認されます。また一部をのぞく会議への参加時は病棟での人員配置から外すようにも指導されており、きちんと対応されているかも含め、施設基準や加算項目ごとのチェックと、掲示物などのラウンドも行われました。

監査や調査が入ると確認事項の再チェックや変更など行われますが、様々な観点で日ごろの運営を振り返ることができます。口頭での指摘も含め、さらなる期待と受けとめ、基準やルールをきちんと理解し、対応すべく職員一同取り組んでまいります。

日本精神科病院協会(以下日精協) 通信教育スクーリング実習受け入れ

日精協では、精神科医療・看護に従事するスタッフ向けの教育・研修を実施しています。中でも、看護職を対象に、シニアコース、リーダーシップコースを設け、看護リーダーの育成及び技術の向上を目的に精神科看護指導者の育成に力を入れています。これらのコースは、看護のリーダー職を目指す方が対象のため、当然実習を受入れるには看護教育の実習病院にふさわしい役割が求められます。

昨年度からこのシニアコースの実習病院に当院が指名され、今年2回目のスクーリングを12月6日(水)開催いたしました。コースの修了者は「認知症指導に関する所定の研修を終了した者」として認定されます。そのため、認知症医療について関わる多職種の講義と認知症病棟を中心とした院内見学、そして当院の特色をアピールする目的も含め、児童精神科病棟の概要など、盛りだくさんの内容を準備して、当日を迎えました。当日は全国から看護職47名と日精協担当者2名の計49名が来院され、9時40分開会、16時を少し超える閉会までみっちりと阪南病院の医療、看護をご覧いただきました。

黒田院長の開会のあいさつの後、事務長から病院概要、沿革の紹介がなされました。休憩をはさみ、講義が6題「認知症患者の社会的背景と精神科病院の役割」について土井副院長が講義され、「認知症病棟における、看護、OT、PSW、CPの役割」はそれぞれの担当者より解説されました。看護師の役割では、日本看護協会認知症認定看護師から患者さんへのケアや関わりなど認知症看護全般の講義と、当院での取り組みなどを病棟師長から説明いたしました。午後からは「児童精神科の取り組み」を松島医長が講義し、その後院内見学を4班に分かれ行いました。

最終の質疑応答では、予め質問をいただいていたこともあり、スムーズでまた時間オーバー気味に認知症に限らず様々なご質問をいただきました。最後に看護部長の総括をいただき、閉会しました。閉会後も熱心に質問される方もいて、有意義なスクーリングであったことが窺われました。少しでも学びを深めようとする方々のサポートができれば幸いです。



年末の挨拶回り

看護部では12月の2日間、堺市内16ヶ所、大阪市内12ヶ所、大阪府下堺市外17ヶ所計45ヶ所の消防署へご挨拶にお伺いし、当院の拠点および救急の搬送や受け入れに関してのご意見や要望を確認しました。ある地域ではブロック分けしたエリア内で搬送しているため、エリア内での搬送が決まらなければご依頼いただいているとのことでした。また夜間の拠点システムでは、まずオペレーターが話を聞くようにし、緊急対応が必要か翌日でもOKかを判断するようになったため、精神科対応が必要な件数は変わらずでも緊急の搬送は減っているという状況でした。また、夜間休日は拠点システムがあるものの、日中の救急搬送で困ることがあり、阪南病院が対応してくれると周知していますとのことでした。ただ、阪南病院に電話した際に誰も出なかったことがあり医師と直接話ができる電話回線はないですかと聞かれたところもありました。

精神科合併症システムがうまく動いていないため、一般科の医師には精神科薬を服用しているというだけで断られる地域もあるようです。一般科で診てその後の精神科が予め決まっていれば受け入れてもらいやすいとのことでした。当院としてもまず身体科での治療の後、身体症状に問題なければ受け入れやすいため、そのように説明させていただきました。直接お話することで、より当院を身近に感じていただければと思いますし、救急搬送にはしっかりと対応することを院内でも徹底していかねばと気を引き締めて取り組んでまいります。

(看護部)